

競 技 注 意 事 項

- 1 本大会は、2025年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会の申し合わせ事項によって競技を行う。
- 2 本大会は、県ユース大会出場選手の選考競技会である。神戸地区より各競技男子上位7名、女子上位6名が県大会へ出場できる。競歩競技は、男子1年20分00秒、男子2年18分00秒、女子1年24分00秒、女子2年21分00秒の標準記録を突破した者に限る。男子三段跳は1年2年ともに11m50以上、女子三段跳は1年2年ともに9m50以上の者に限る。男子ハンマー投は1年23m00、2年30m00、女子ハンマー投は1年20m00、2年23m00の標準記録を突破した者に限る。各種目の一次予選通過者は、二次予選に出場すること。なお、二次予選の記録により県大会出場者を選考する。ただし、一次予選のみの種目は、一次予選の記録により県大会出場者を決定する。
跳躍（走高跳、棒高跳は除く）、投てき種目は3回の試技後、上位8名を選出し、さらに3回の試技を行う。
- 3 走高跳については、県大会出場枠の最終順位に同順位の競技者がいた場合、その出場者の決定にあたっては、1位決定のジャンプオフ方式を適用する。それ以外の種目については、抽選により県大会の出場枠を決定する。
- 4 招集については、すべての競技を雨天練習場で行う。
招集開始および完了時刻は、競技日程に記載してある。
招集開始時刻に招集場で競技者係の点呼を受け、その際アスリートビブス・スパイク等の点検を受ける。
(注) 2種目に引き続いて出場する場合などで、次の種目の点呼に出席できない場合は、多項目同時出場届を競技者係に提出し、指示を受けること。 ※点呼を受けないものは出場を認めない。
- 5 リレーのオーダー用紙の提出については、次の通りとする。
各種目第1組の招集完了時刻の2時間30分前～1時間30分前の間に本部番組編成員に提出のこと。
リレーのオーダー用紙は、プログラム最終ページのものを使用する。
- 6トラック競技においては、二次予選への進出記録の最下位が同タイムの場合、レーンの許す限り進める。空レーンを超えた場合は、抽選で決定する。オープンレーンでは、全員進める。
- 7 プログラム記載のアスリートビブスのナンバーや名前に誤りがあれば、大会総務に申し出て訂正してもらうこと。
- 8 アスリートビブスは胸部・背部にしっかりと付けること。（布の大きさを変えない）
ただし、跳躍競技に参加する競技者は胸部・背部のいずれか一方でもよい。
以上については招集時に点検をする。800mまでの種目とリレーの第4走者は、腰ナンバーを各校で用意すること。
★1500m、3000mSCの出場者には腰ナンバーを、3000m、5000m、5000mWの出場者には、別胸ナンバーおよび腰ナンバーを渡す。ゴール後は、すぐにはずして係に返却すること。
- 9 腰ナンバーは、定められたレーン番号布を右腰やや後方に付けること。（各校で準備すること）
- 10 スターティングブロックは、競技場備え付けのものを使用すること。
- 11 やりは、各自持参のものを検査を受けて使用してもよい。検査は、フィニッシュ側の用器具庫で行う。
検査時間：10分間で行う。（男子：9：00～9：10、女子：11：00～11：10）
- 12 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は下記を目安とするが、大会当日に審判員の判断で変更することがある。

		練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
走高跳	男	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.78	1.81	1m75以降3cmきざみ
	女	1.15	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.48	1.51	1.54	1m45以降3cmきざみ
棒高跳	男	2.20	2.40	2.60	2.80	3.00	3.10	3.20	3.30	3.40	3.50	3m00以降10cmきざみ
	女	1.50	1.70	1.90	2.00	2.10	2.20	2.30	2.40	2.50	2.60	1m90以降10cmきざみ

順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

- 13 三段跳は男子11m、女子8m・9mに踏切板を設置する。
- 14 競技運営の都合上、5000m、3000m、3000mSC、5000mWは、著しく遅れた時は途中で打ち切る場合がある。
指示があれば速やかにレースを中止すること。
- 15 7：40～8：45までメイン競技場での練習を可とします。（投擲種目以外）
競技中は、バックストレートのトラック外およびバックスタンドコンコースでのウォーミングアップを可とします。
- 16 各自の荷物は各自でよく管理すること。更衣室等に監視なしで放置すると盗難の恐れがある。
忘れ物、落とし物のないように注意すること。
- 17 補助員は、各校より2名を出すこと。指示を受けてから任務につくこと。
- 18 競技場は、全天候型であるから9mm以下の全天候用のスパイクピンを使用すること。
ただし走高跳、やり投は12mm以下とする。
- 19 2日目の競技終了後、県大会出場者の確認、並びに+α順位決定の会議を行う。県大会に出場する学校の顧問は必ず出席すること。（場所……ユニバー競技場B会議室 時間……16:30～予定）

県ユース大会出場選考方法 予選会形式（神戸方式）
(1) 県大会へは二次予選及び決勝の結果、各競技男子上位7名、女子上位6名が出場できる。 競歩競技は、男子1年20分00秒、男子2年18分00秒、女子1年24分00秒、女子2年21分00秒の標準記録を突破した者に限る。
(2) 一次予選で上位8～16名を選び、二次予選を実施する。ただし、種目、参加人数により予選は一次予選のみとすることがある。
(3) 二次予選の出場権を得たものがレースに出場しない場合、県大会への出場権を放棄したものとみなす。
(4) 跳躍（走高跳、棒高跳は除く）、投てき種目は3回の試技後、上位8名を選出し、さらに3回の試技を行う。
(5) +αは一次予選、二次予選のタイムを参考にし、同記録の場合は抽選で順位を決定する。